

9月13日（水）、10月4日（水）に開催された実践研究部会での活動を紹介します。

9月13日（水）に参加者のみなさん

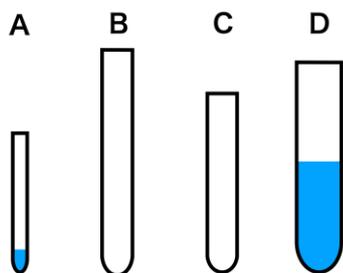
瀧田 健司先生（神沢中）、阿比留 慶治先生（山王中）、濱地 光大先生（富士中）
丹羽 良平先生（有松中）、小比賀 正規先生（扇台中）、田舎片 雄貴先生（萩山中）

10月4日（水）に参加者のみなさん

瀧田 健司先生（神沢中）、阿比留 慶治先生（山王中）、濱地 光大先生（富士中）
丹羽 良平先生（有松中）、小比賀 正規先生（扇台中）、田舎片 雄貴先生（萩山中）
吉岡 隆先生（楠中）、樽見 宗先生（有松中）、増田 旬一郎先生（天神山中）
旦野 智啓先生（北中）、永治 友希先生（吉根中）、上村 拓也先生（山田中）
矢嶋 隆人先生（大高中）、高羽 幸さん（名古屋市科学館）

秋の授業公開に向けて

扇台中学校の小比賀正規先生より、秋の授業公開に向けての提案をしていただきました。今回は、扇台中学校の理科室をお借りして、「『科学的に探究可能な問い』を立てることのできる生徒の育成」をねらいとした授業の検討を行いました。



【並べ替え課題】

手だては、「並び替え課題」「ワークシートの工夫」「ICTの活用」を考えています。本時の「並び替え課題」は、左図のA～Dの4種類の試験管について、高い音が出る順番で並び替えさせるというものです。この課題に取り組みさせることを通して、「音の高さ」という従属変数について意識させたいです。そして、「（独立変数）を（変化）させると、（従属変数）が（変化）となる。」という穴埋め式の定型文に当てはめさせることで、生徒は作業仮説を立てることができるようになると考えています。

今回利用するワークシートは、「問い」の生成プロセスを「（「並び替え課題」）→驚くべき事象の観察→疑問の生成→問題状況の確認→既有知識の想起→説明仮説の発案（変数の抽出）→変数の因果関係の検討→作業仮説の設定→問いの設定」という思考プロセスに沿って作成します。生徒がワークシートを順に埋めていくことで、科学的探究可能な問いを設定できると考えました。

「ICTの活用」として、これまでの生徒の活動をICTで代替した以下の3点を考えています。

- ① 表計算ソフトの共有機能の活用（実験結果を班ごとで黒板に記入させるイメージ）
- ② ワークシートのオンラインでの共有（班ごとに模造紙を作成させることをイメージ）
- ③ ワークシートのTeamsでの共有（ワークシートを他の班と見せ合わせるイメージ）

名理会 秋の授業公開

令和5年10月25日（水）午後 場所：扇台中学校 授業者：小比賀正規先生
実践単元：中1「単元3 身近な物理現象 2章 音の性質」